

外来担当医一覧表

令和2年4月1日現在 国立病院機構天竜病院

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土・日
内科	12番 (一般内科・呼吸器) 藤田	(一般内科・呼吸器) 金井	(一般内科・呼吸器) 大嶋		(一般内科・呼吸器) 金井	休診 急患の方は診察を いたします。 (事前にお電話ください)
	13番 (一般内科・呼吸器) 白井	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 永福(建)	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 白井	
	14番 (一般内科・糖尿病) 永福(未)		(一般内科・糖尿病) 永福(未)	(一般内科・糖尿病) 井本	(内分泌) 井本	
	15番 (一般内科・呼吸器) 伊藤	(一般内科・呼吸器) 大場			(一般内科・呼吸器) 三輪	
	16番 (一般内科・循環器) 受付13:00~16:00 生駒	(一般内科・腎臓) 石垣			(一般内科・循環器) 榊原	
	19番 (一般内科・神経内科) 鎌田	(一般内科・神経内科) 西山	(一般内科・神経内科) 福徳	(一般内科・神経内科) 西山	(消化器) 松浦	
	初診	金井/大嶋 福徳・永福(未)	永福(建)・三輪・鎌田	藤田/大場/西山	白井/岩泉・鎌田	
泌尿器科 (一般泌尿器・腎不全)			受付13:00~16:00 再診のみ 松下/佐藤			
児童精神科 <small>完全予約制で、医療機関等の紹介状が必要です。紹介状を取得後に電話で予約してください。</small>	1 (56番)		山村	山村		
	2 (55番)	藤田		藤田	藤田	
	3 (54番)		日指			日指
	4 (53番)	櫻井	加藤	加藤	櫻井	櫻井/加藤
眼科 (22番)	受付13:30~16:30 古森					
皮膚科 (15番)			再診のみ 影山/小島			

\*泌尿器科及び皮膚科は再診患者様のみです。  
\*児童精神科を初めて受診される方は、事前に電話予約が必要となります。

各種相談担当者一覧表

相談区分	実施日	相談内容	担当者
禁煙外来	毎週木曜日 (午後)予約制	・禁煙希望患者様に対し、禁煙までの診療指導。 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
もの忘れ外来	毎週月曜日 (午後)予約制 (初診のみ)	・認知症の早期診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	神経内科医長 鎌田 皇 神経内科医長 西山 治子
アレルギー外来	毎週月曜日 (午前)予約制 (初診のみ)	・喘息疾患の診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
抗酸菌症外来	毎週木曜日 (午前)予約制	・抗酸菌症の診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器科 医師
乳児健診	月、木(午前中)	・乳児健診(静岡県母子保健事業にかかる) 4ヶ月、10ヶ月健診。	小児科医長 豊田 敦
予防接種	毎週月曜日 (午前)予約制	・四種混合、麻しん、風しんなどの定期予防接種の実施。	小児科医長 豊田 敦
医療相談	月～金曜日	・医療費の支払、各種健康保険の手続き、障害者申請の方法。 ・療養や社会復帰の際の心配ごと等の相談。	医療社会事業専門員 椋本 美穂
栄養相談	月～金曜日	・食事療法の具体的な方法、生活習慣病予防のための食事の献立。 ・食物の栄養やカロリー等の説明や相談。	管理栄養士 齊藤 文、名切 佑花 長留 紀子、水野真紀子

\*希望される方は、医師係受付までお問い合わせ下さい。(平日の8時30分から17時15分まで)

予約検査一覧 ④消化器内視鏡・胃透視・注腸造影 ⑤気管支鏡 \*検査は受診のうえ、予約が必要です。

WHOがパンデミックを宣言し感染拡大が止まらないコロナウイルス。オリンピックは延期になり、自治体は自粛ムードが緩みつつある空気に警鐘を鳴らし、人々はその一つ一つに振り回されています。一方外国に目を向ければ、日本は比較的上手にやり過ごしているような気がします。日本人の特性でしょうか?しかし多くの人は大きなジレンマに長期間さらされることに耐えられないので人や社会に苛たつようになります。どういう風に過ごすか、どうやってしのいでいくかを真剣に考える必要があります。そんなときこの「かがやき」を読んで少しでも心に潤いを…。そこまで高尚な読み物ではありませんが、少しでも暇つぶしになればと思います。



りゅうりゅう

国立病院機構 天竜病院

浜松市浜北区於呂4201-2 TEL(053)583-3111(代) FAX(053)583-3664



# かがやき

vol.82  
2020.4月発行

https://tenryu.hosp.go.jp/

## 「七つのまちがい探し」

### 花粉症

\*解答は中面をご覧ください。



## 重症心身障がい児・者の皆さまの短期入所事業を行っています。

当院では、重症心身障がい児・者病棟(1・2病棟)で短期入所事業を行っています。ご家族のご都合でご本人のお世話が難しいときや、ご家族が休息をとられるときに、ぜひご利用ください(短期入所の利用は予約制となります)。

ご利用には、障がい福祉サービス受給者証が必要です。また、先に当院の外来受診をされたうえで体験ショートステイをしていただく必要がありますので、まずは主任児童指導員までお問い合わせ、またはご連絡ください。

TEL. 053-583-3111(代) 主任児童指導員 成田

## 各科の紹介【呼吸器・アレルギー科】

結核治療には早期発見早期治療が重要です。症状は長引く咳痰、微熱、倦怠感等で、高齢者は元気がないだけのこともあります。症状が2週間以上続いたり、再び返す時は、喀痰採取やレントゲン検査を進めてゆきます。

私たちの身の回りには様々な感染症が存在し、新たな感染症も生じてきています。正しく理解して適切に対策してゆくことがとても大切です。

結核は結核菌を吸い込むことにより起こる病気です。咳で排出された飛沫から水分が蒸発すると空気中に菌が漂うようになります。吸い込んだ菌が肺の奥で定着した状態を「感染」といいます。しかし、肺の奥まで到達するまでには様々な防御機構が働き、多くは感染に至りません。また、感染しただけでは無症状で人にはうつりません。一方、結核菌は免疫で抑え込まれても潜伏して生き残りを謀ります。高齢や糖尿病等で宿主の免疫力が低下すると、活動増殖し「発病」の状態となり、その多くは肺結核です。感染した人の約2割が免疫力低下に伴い長い経過の後に発病しています。ただ、発病したとしても痰の中に結核菌がいる「排菌」状態しか感染力を持ちません。早期段階や治療で痰の中の菌が消えた人は感染源にはならず、通常の生活を送っても全く問題ありません。

結核という感染症について

当院は昭和15年国立結核療養所として開設され、現在も結核病棟を有し、主に県西部の結核患者さんの入院治療を担っています。

結核はヒトからヒトへ感染する疾患のため、誤解や偏見を生み、誤った過剰な反応を引き起こしがちです。そこで今回は結核についてお話しいたします。

結核は結核菌を吸い込むことにより起こる病気です。咳で排出された飛沫から水分が蒸発すると空気中に菌が漂うようになります。吸い込んだ菌が肺の奥で定着した状態を「感染」といいます。しかし、肺の奥まで到達するまでには様々な防御機構が働き、多くは感染に至りません。また、感染しただけでは無症状で人にはうつりません。一方、結核菌は免疫で抑え込まれても潜伏して生き残りを謀ります。高齢や糖尿病等で宿主の免疫力が低下すると、活動増殖し「発病」の状態となり、その多くは肺結核です。感染した人の約2割が免疫力低下に伴い長い経過の後に発病しています。ただ、発病したとしても痰の中に結核菌がいる「排菌」状態しか感染力を持ちません。早期段階や治療で痰の中の菌が消えた人は感染源にはならず、通常の生活を送っても全く問題ありません。



第一診療部長  
金井 美穂

## 神経内科病棟で療養介護サービスはじめました

4病棟 片浦 明子

4病棟は今年1月より療養介護サービスを開始しています。療養介護サービスとは、医療と常時介護が必要とする方に、医療機関での機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行うサービスのことです。4病棟には神経難病の患者様や人工呼吸器を装着した患者様が長期的に入院されています。治療の場であるとともに生活の場でもある病

棟で、患者様とご家族の「生きる」ための意向を聞き入れ、医師、看護師、理学療法士、MSWなど多職種が連携し、それぞれの患者様に合ったケアを提供しています。まだ始まったばかりですが、レクリエーションや季節の行事を取り入れ、他の病院では味わえない、彩りのある入院生活を支援させていただきたいと思っています。



## 結核研修会を開催しました

医療社会事業専門員 椋本 美穂

1月17日(金)、結核研修会を開催しました。医療機関や施設等から、医師・看護師・相談員・事務職員など35名の参加がありました。

今回は「結核患者発生時・受入時の対応について」をテーマとし、まずは、呼吸器内科医長金井医師からの「結核の診断・治療・感染対策」の講義が行われ、結核に関する基本的な事項について学びました。

ケーススタディでは、当院結核病棟の看護師が事例を作成・司会進行を行い、浜松市保健所・西部保健所の保健師の方にも参加していただき、施設での結核発生、入院、退院にむけてのDOTS(対面服薬短期療法)等、具体的な注意点について学ぶ事ができました。「発生時どのような流れで受診し

たらいいか?」「連絡のタイミングはどうしたらいいか?」といった質問等については、保健師の方々にもご説明いただき、保健所の方々との連携を深める機会にもなりました。

参加者のみなさんからは、「対応の不安があったが、聴講のなかで納得できた。」「結核について古くからのイメージが多くあると思うので、病気に対するイメージを少しでも変えていけるように取り組みたいです。」「あわてないで良いことがわかりました。」等のご意見をいただきました。

理解が深まれば、結核をおそれることはありません。今後も、このような研修を通じ、結核について正しい知識の普及を行えるようにしていければと思います。



## 認知症看護認定看護師の資格を取得して

認知症看護認定看護師 後藤 文宏

こんにちは、昨年の7月に認知症看護認定看護師に合格しました後藤です。認知症のある方は、自宅では出来ていた事も環境が変わる事により出来る事も出来なくなる事や、自分の体に起きている事を正しく認識し、伝える事が難しくなります。入院・病気による苦痛は大きなストレスを感じ、不安や混乱している事も多い状況です。資格を取得するまで認知症の方は自分の事が分からなくなり、何もできなくなっていく病気なのだと思っていました。しかし、認知症の方は自分の考えや性格は変わらない事・できる事を探し継続していける様に支援する事が大切である事・その人を知る事・その人の思いや考え方を重視した関わり等が安心した生活には必要なだと学びました。

認知症の方を看護していく上で大切な事は、その人らしさです。認知症が進行していく事により、自分の思いを伝える事が難しくなっていきます。言葉で伝える事が難しくなりますが、行動や表情で自分の思いを訴えている事があります。その行

動や反応の意味を考えていく事が非常に大切になります。この思いに沿った支援を行えるように日々悩みながらも頑張っています。昨年より活動を開始しましたが、病院における自分の活動の仕方や立ち位置について日々模索している最中です。病棟における患者様への関わり方・考え方をスタッフの指導するロールモデルだけでなく、認知症のある患者様の家族の相談対応や病院スタッフの認知症に対する理解を深めていけるような勉強会等も行っていける様に今後活動の幅を広げていきたいと思っております。認知症に関する事で何かありましたらご相談ください。



## 《全身がんMRI検診のご案内》



**Aコース** 全身がんMRI検診は「首～下腹部までをMRI:DWIBS(ドゥイブス)」を用いて行います。

**Bコース** 御希望により「**頭部MRI**」を追加する事も出来ます。  
※頭のMRIでは脳腫瘍、脳梗塞、動脈瘤等について調べることが可能です。

**Cコース** 40歳以上の方には追加で「**低線量肺がんCT検診**」もおすすめします。早期肺がん検出で最も有力な手段です。

コース	料金(税込み)	検査時間
Aコース	全身(DWIBS)のみ	11,000円 約30分
Bコース	全身(DWIBS)+脳	16,500円 約45分
Cコース	Bコース+肺がんCT検診	22,500円 約60分



↑ 肺癌・大腸癌のDWIBS写真(右CT検査)

**申込方法** TEL053-583-3111 地域医療連携室 までお電話にて、希望の**予約日時**と**検診コース**をお伝え下さい。※検診は毎週木・金曜日の13:00～16:00に実施しています。

事前に以下の機械が体内・外に無いか確認して下さい

【ペースメーカー・除細動器・神経刺激装置・人工内耳】※これらの機械がある場合は検査が出来ません。体内に人工関節やステント等の金属がある際、検査が出来ない場合がございますので、地域連携室までお問い合わせください。

**看護師 看護助手 募集中** **新しい病院で私達と一緒に働きませんか。**(詳しくはホームページをご覧ください)  
お問い合わせ/電話:053-583-3111 看護部:内線5113 庶務係:内線5322